

第三一五回俳都松山俳句ポスト

第三一五回開函

「紅日」主宰 川内 雄二 選

特選三句

照るもよし降られるもよし遍路道

大阪府茨木市 冨田 茂

無住寺の石段崩れ虫の宿

愛媛県新居浜市 青山 京子

帯とけば笑顔が戻る七五三

愛媛県松山市 白井 宏

入選二十句

(市外)

切り立った石垣の刃に松緑

三重県志摩市 山路 太三

暮れなづむ空美しや星祭

神奈川県横浜市 土師 章子

初登山石鎚山を登りきる

福岡県飯塚市 友田 信明

急階段汗を乾かす天守の風

愛知県名古屋市 藤松 昌子

帰省子の訛り飛び交ふ島フェリー

愛媛県新居浜市 寺村 洋子

青葉木菟啼かぬは淋し啼けばなほ

愛媛県今治市 玉田 佐知子

卵殻積みてカステラ売る夜店

兵庫県芦屋市 瀬戸 幹三

父母も夫も天上大夕焼

新潟県小千谷市 佐藤 富子

登りつめ花野の風のやはらかき

大分県津久見市 斉藤 小夜子

薰風の四方より入り天守閣

東京都町田市 菊池 純代

Tシャツの襟もよれたる夏の果

岐阜県各務原市 加古 義博

岩屋なる手洗の底に井守棲む

大阪府門真市 川上 なみ子

静けさに一人佇む梅雨の旅

岡山県倉敷市 西原 栄七

(市内)

アンネ薔薇咲かせ路地奥風やさし

愛媛県松山市 松田 とよ

列車より灘一望の大夕焼

愛媛県松山市 林 一孝

明易し静寂を破る刻太鼓

愛媛県松山市 篠原 正史

かなかなのあと継ぐ声の彼方かな

愛媛県松山市 岩渕 晃三

台風の傷跡あまた樟大樹

愛媛県松山市 入河 大

(十五歳以下)

湯上がりの浴衣と風と畳の香

東京都足立区 橋場 美旺

水鏡新緑映し青く照る

福岡県中間市 岩崎 瑚雪

伊予灘ものがたり賞

伊予灘の秋の夕陽は列車色

東京都練馬区 茂木 政一

投句総数 一、九五七句

市外 一、四五一句

市内 五〇六句

投句者総数 一、二〇二人

市外 九二八人

市内 二七四人

開函日

令和六年八月三十一日